

環境活動レポート(2015年度)

(対象期間:2015年10月～2016年9月)



 **内海電機株式会社**

発行日: 2016年10月19日
改訂日: 2016年11月2日

□ごあいさつ

内海電機(株)は開発品を主とし検査・計測システム、FA・制御システム、電源装置等お客様のニーズに対応した各種装置の設計・製作、又、医療機器用機具として加速度脈波測定システムのセンシング部の製造を行っています。
当社は製造業として環境意識の高揚を図り環境経営を念頭にECO活動を実践していくことが責務であると認識しています。
今後も地域に必要な会社として歩んで参りたいと存じます。

内海電機株式会社
代表取締役社長 橋田 寛

環 境 方 針

<環境理念>

内海電機(株)はあらゆる企業活動において、地球環境保全が重要な課題と再認識し、体制の構築・意識の改革を行い、環境汚染の防止・資源の有効活用など、社員全員が一丸となって、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

<行動指針>

- 1、次の事項について環境目標・環境活動計画を定め定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。
 - 1)二酸化炭素排出量の削減
 - 2)廃棄物の削減
 - 3)水使用量の削減
 - 4)環境に配慮したグリーン購入の推進
 - 5)環境に配慮したグリーン調達への推進
 - 6)環境に配慮した製品への取組
 - 7)化学物質使用量の抑制及び管理
- 2、環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2009年10月1日

改訂日：2010年8月17日

代表取締役社長 橋田 寛

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

内海電機株式会社

代表取締役社長 橋田 寛

(2) 所在地

本 社 兵庫県尼崎市東初島町2-28

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 技術部係長 奥田 研一 TEL:06-6488-8061

担当者 技術部 中條 圭一 TEL:06-6488-8061

(4) 事業内容

電子制御機器の製造

主要製品:各種マイコン応用による検査、計測、製造設備のシステム開発・設計製作

(5) 事業の規模

製品出荷額 345百万円 (15年度)

主要製品生産額 104百万円 (15年度主要製品)

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
従業員 (人数)	20	21	23	21	20	20
延べ床面積 (m ²)	817	817	817	817	817	817
総売上高 (百万円)	265	304	380	334.7	324	345

(6) 事業年度

10月1日～翌年9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 内海電機株式会社

関連事業所: 該当なし

対象外: 該当なし

活動: 電子制御機器の製造



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2011年 (基準 年度)	2012年	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素総排出量 (*0)	kg-CO ₂	21,763	18,158	17,833	16,502	17,086
廃棄物排出量	kg	2,490	5,222	5,717	3,710	3,698
一般廃棄物 排出量	kg	1,130	1,442	1,007	857	967
産業廃棄物排出量	kg	1,360	3,780	4,710	2,853	2,731
総排水量	m ³	159	127	126	133	125
化学物質使用量(鉛)	kg	7.9	4.5	5.6	6.8	5.2

(*0):LGPガスふくまない。

□環境目標及びその実績

項目	年度	2011年 (基準年度)	2012年	2013年	2014年	2015年		2016年
		実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標(仮)
電力の二酸化炭素排出 量削減	kg-CO ₂	14,966	13,421	12,050	11,967	14,218	12,357	13,469
	基準年度比		90%	81%	80%	95%	83%	90%
ガソリンの二酸化炭素排 出量削減	kg-CO ₂	5,398	3,403	4,787	4,039	5,128	4,099	4,858
	基準年度比		63%	89%	75%	95%	76%	90%
軽油の二酸化炭素排出 量削減	kg-CO ₂	1,399	1,334	996	495	1,329	630	1,259
	基準年度比		95%	71%	35%	95%	47%	90%
上記二酸化炭素排出量合計 (※1)	kg-CO ₂	21,763	18,158	17,833	16,502	20,675	17,086	19,586
一般廃棄物の削減	kg	1,130	1,442	1,007	857	1,074	967	1,017
	基準年度比		128%	89%	76%	95%	86%	90%
産業廃棄物の削減	kg	1,360	3,780	4,710	2,853	1,360	2,731	1,360
	基準年度比		278%	346%	210%	100%	201%	100%
水道水の削減	m ³	159	127	126	133	154	125	143
	基準年度比		80%	79%	84%	97%	99%	90%
グリーン購入の推進	%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		(基準年度)						
グリーン調達の推進 ROHS対応品/総調達	%	98%	82%	100%	100%	100%	88%	90%
		(基準年度)						
環境配慮製品への取組 (売上高比)	%	22%	56%	62%	63%	44%	63%	60%
		(基準年度)						
化学物質の使用量の抑 制及び管理	kg	7.9	4.5	5.6	6.8	7.5	5.2	7.1
	基準年度比	(基準年度)	57%	71%	85%	95%	66%	90%

(※1):LPGガス含まず。なお、電力の二酸化炭素排出係数は2008年度関西電力(0.355)を使用。

□環境活動の取り組み計画と評価・次年度の取り組み内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・不要照明の消灯	◎	[結果] 結果は良好であった。 しかし、未使用部屋の照明がONになっていることがある。朝礼等で注意喚起する必要あり。 夏の暑さの割に消費電力を抑えられた。 扇風機をサーキュレータとして使用していた点、評価する。
・OA機器の節電	○	
・会議、外出時等未使用時電源OFF	○	
・省エネモード設定	◎	
・空調温度の適正化 (冷房=28℃ 暖房=19℃)	◎	
・電力使用量削減に向けた運用基準の遵守	◎	
・パソコンを使用しないときは電源OFF	◎	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・アイドリングストップ	◎	[結果] 結果は良好であった。 仕事量との兼ね合いもあるので油断せず左記を確実に実践する。
・急加速の抑制	◎	
・冷暖房の控えめ使用	○	
・タイヤ空気圧の適正管理	◎	
・走行距離と使用燃料の比較管理	◎	
一般廃棄物の削減		
・両面コピー、裏紙使用	◎	[結果] 結果は良好であった。 古い印刷物を電子ファイル化する活動を今年度から始めた。 情報漏えいに繋がらない裏紙も大量に発生するので再利用する。
・コピーミスの防止	○	
・分別による古紙のリサイクル化	◎	
・電子データ化	△	
・廃棄量の目標と実績のグラフを掲示	◎	
産業廃棄物の削減		
・分別BOX設置と分別保管	◎	[結果] 社内の整理整頓が進んでいる。 現在、過渡期であり来年度以降評価する。
・作業ミス防止の分析・改善	○	
・マニフェストの管理	◎	
・配線材の残材削減	○	
水道水の削減		
・節水の呼びかけ(手洗い水量の適正)	◎	[結果] 結果は良好であった。 地理的な問題がある為、雨水の利用は断念した。
・シャワー式蛇口の取り付け	○	
・雨水の利用(雨水タンク設置など)	—	
環境に配慮したグリーン購入の推進		
・グリーン購入実態管理	◎	[結果] 結果は良好であった。次年度も例外が生じないよう注視する。
・グリーン品への変更可否調査(伝票関)	◎	
環境に配慮したグリーン調達の推進		
・プリント基板のグリーン化	◎	[結果] 目標99%は厳しい数字なので実績に見合った数字に再設定する。
・在庫部品の活用と削減	◎	
・部品の標準化と在庫品の活用	◎	
環境に配慮した製品への取組		
・レポートオーダーのグリーン資材調達状況調査	◎	[結果] 分析の結果、基準年度の値が、現状と乖離していることが判った。来年度から目標値を再設定する。
・環境を配慮した部品への変更	◎	
・歩留まり調査・分析・改善	△	
・環境に配慮した部品の標準化	×	
化学物質使用量の抑制及び管理		
・月別使用量管理	◎	[結果] 結果は良好であった。仕事の性質上、共晶半田の使用はやむを得ない。エコと効率のバランスをとる。
・半田屑の管理	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、電気部)	○
Nox.PM法	トラック(850kg)	○
労働安全衛生法	鉛中毒予防の管理、	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	特定第一種化学化合物 No.305鉛化合物(共晶半田)	○
フロン排出抑制法	空調機の簡易点検	○
薬事法	加速度脈波計(アルテット)	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

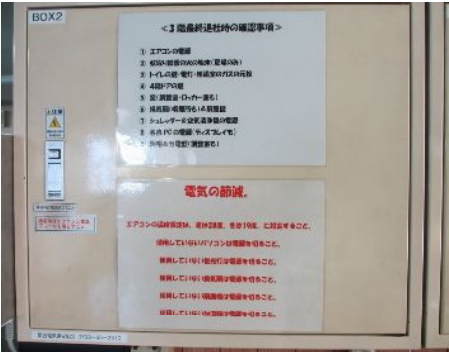
組織のリフレッシュを目的に、交代可能な責任者の入れ換えを行い丸2年が経過した。

活動計画の中の「達成状況／是正策」で書かれる内容も前任とは異なる視点が多く、交代の意義は十分あったと考える。

また、基準年度の月別の数字を、そのまま目標値に使うのではなく1年を通して平均して運用し易い形にするなどの試みもみられた。

ただし、各部門の状況が全社員によく伝わっているか、という点については、まだまだ改善の余地がある。朝礼、掲示、メール、回覧等の手段を利用して、せつかくのデータや分析結果を全社員にきめ細かく伝える必要がある。

節電の為の啓発表示



廃棄物分別の為の啓発



節水の為の啓発表示

